

デイリー・ジーザス・ニュース #298

木曜日...指導と逮捕の日：

「大祭司の祈り」を捧げる

の保護と聖化を祈る

ヨハネ17.6-19

=====

6あなたが世からわたしに与えてくださった人々に、わたしはあなたの御名を現しました。彼らはあなたのものでしたが、あなたは彼らをわたしに与え、彼らはあなたの約束を守りました。7今、彼らは、あなたがわたしに与えてくださったすべてのものがあなたから出たものであることを、はっきりと知りました。8わたしはあなたがわたしに与えてくださった言葉を彼らに伝え、彼らはそれを受け入れました。彼らはわたしがあなたから来たことを確信し、あなたがわたしを遣わされたと信じました。

9わたしは彼らのために祈ります。世のために祈るのではなく、あなたがわたしに永遠に与えてくださった人々のために祈るのです。彼らはあなたのものです。10わたしの持つものはすべてあなたのものであり、あなたの持つものはすべてわたしのものです。そして、わたしは彼らによって永遠に栄光を受けました。

11」私はもはや世にとどまりません。しかし、彼らはなお世にいます。そして、私はあなたのもとに行きます。聖なる父よ、あなたの御名、あなたが私に永遠に与えてくださった御名によって、彼らを守ってください。私たちが一つであるように、彼らも一つとなるようにしてください。12彼らと共にいる間、私はあなたが私に与えてくださった御名によって彼らを守り、守ってきました。滅びに定められた者以外、失われた者は一人もいませんでした。それは、聖書が成就するためです。

13わたしは今あなたがたのところへ行きますが、わたしがまだこの世にいる間にこれらのことを話すのは、わたしの喜びがいつまでも満ちあふれるようにするためです。14わたしはあなたの言葉をいつまでも彼らに伝えました。そして、世は彼らを憎みました。わたしが世に属していないように、彼らも世に属していないからです。

15わたしがお願いするのは、彼らをこの世から取り去っていただくことではなく、彼らを悪い者から守っていただくことです。16彼らも世のものではありません。わたしも世のものではありません。

“the whole truth, and nothing but the truth about Jesus”

THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication by John Wright

17真理によって彼らを聖別してください。あなたの言葉は真理です。18あなたが私を世につかわされたように、私も彼らを世につかわしました。19彼らも真理によって聖別されるため、私は彼らのために自分自身を聖別します。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

| | |
|-----------|-------------------|
| 位置 | オリブ山への道沿いのブドウ園 |
| タイムライン | 4月上旬 (39ヶ月目) |
| イエスの生涯の文脈 | 第8段階: 受難週 |
| | D. 木曜日: 指導と逮捕の日 |
| | イエスは大祭司としての祈りを捧げる |
| タイトル | の保護と聖化を祈る |

今日の朗読の中で、イエスは弟子たちと離れている間、彼らが守られるよう、そして将来もイエスに仕えるという彼らの決意を祈られました。これから、この祈りの二つの側面について見ていきましょう。

イエスは、ご自身の死から復活までの期間に弟子たちに何が起こるかを心配しておられました。ペテロと他の弟子たちの信仰が、この期間に失われることがないように、すでに何度も祈っておられました。そして、逮捕される前の最後の数時間に、イエスは再び彼らのために祈られました。

イエスは、弟子たちが父から与えられた御言葉を永遠に「守った」ことに気づかれました。「守る」あるいは「守る」とは、「完全に従う」という意味ではありません。イエスは彼らの従順さを「完全」あるいは「完璧」と表現することはできませんでした。しかし、彼らは、完全に従順

であったかどうかに関わらず、御言葉の真実性に対する信仰を粘り強く持ち続けました。御言葉は時に彼らを慰め、また時に、従わなかった時には裁きを与えました。

の言葉に対する主観的な反応に関わらず、それが客観的な真実であり、自分たちを拘束するものだ信じ続けました。これがイエスの言葉を「守る」ということなのです。

イエスは、ご自身が一時的に弟子たちから離れている間、父なる神に弟子たちを「守って」くださるようお願いしておられました。イエスはこの節で「あなたの御名によって、あなたの御名によって」という表現を繰り返しています。これは「あなたの御姿にふさわしい仕方です」という意味です。イエスは、ご自身の御姿にふさわしい仕方です弟子たちを守ってくださるよう父なる神に願っておられたのです。こうして父なる神の栄光が明らかにされ、弟子たちの必要も満たされることが保証されたのです。

イエスが弟子の将来の仕えの決意を祈り始めたとき、イエスは私たちを含むすべての将来の信者をその願いに含め始めました。これは、21節でギリシャ語の現在形を選んだことから分かります。「わたしは今、これらの人々のためだけに祈っているのではない...」(17:21) 死と復活の間の期間における保護の必要性は、イエスがこの祈りを捧げていた当時既に信者であった弟子たちにとって、唯一かつ一度限りの必要性でした。将来に関するイエスのすべての願いは、すべての将来の信者をも含んでいました。

イエスは、すべての信者が真理によって聖化されるように祈りました。そして、私たちもその真理によって聖化されるように、ご自身が私たちのために聖化しているのだと言いました。「聖化」とは、「専用の、排他的な用途のために取り分ける」ことであり、これが「聖さ」の根源的な意味です。

「神の子羊」として私たちの身代わりとなって死ぬという献身的な奉仕のために、ご自身を聖別されました。イエスは私たちの犠牲として、そしてご自身の血によって新しい契約を確立する者としての、唯一無二の役割に完全に身を捧げられました。イエスの聖化は、イエス自身の罪とは全く関係がなく、私たちの罪を償うことにすべて関係していました。

イエスが私たちの罪からの救い主となることに完全に身を捧げられたので、私たちも真理において二重の聖化を受けることができます。まず、イエスが私たちのために買い取ってくださる赦しを通して、私たちは罪から離れなければなりません。イエスの御言葉の真理は、罪とは何か、そしてイエスがそれを永遠に私たちから取り除くために何をしてくださったかを告げています。ですから、私たちの聖化の第一段階は、神の御言葉の真理に基づいた、悔い改めと罪からの清めです。

真理を通して私たちが聖化される第二段階は、イエスに「とどまる」ことによって、イエスが力を与えてくださる従順を通して、イエスの御心を成し遂げることに献身することです。イエスは、弟子たちがご自身が残された使命を100%全うする献身を通して、すべての国の人々を弟子とする使命を成し遂げられると確信しておられました。

世界伝道は、弱虫や自己中心的な人のためのものではありません。イエスと同じように、イエスの目的に献身する人々を通してのみ実現します。イエスはまさにこれを祈っておられました。使徒たちがそれまでどれほど弱く自己中心的であったかを考えると、イエスが彼らの御心を成し遂げるといふ決意の変化、つまり彼らの聖化を祈られたことは、非常に理にかなっています。

応用：

私たち自身の弱さと自己陶醉を正直に考慮するとき、私たちの完全な清めのために私たちのために祈ってくださったイエスのこの祈りは、非常に大きな重要性を帯びてきます。

私たちはイエスに加わり、この祈りに関してイエスに完全に同意し、それを私たち自身の熱烈な、絶え間ない願いとしなければなりません。

主よ、あなたの真理を私の中に照らし、あなたの御霊の力によって私の中に住まわせて、私をあなたのような者にして下さい。あなたが私のためにご自身を聖別して成し遂げてくださったすべてのことが、あなたの御霊の力によって私の中で効果を発揮しますように。

あなたはどれくらいの頻度で自分の聖化を祈りますか？イエスの姿へと成長することは、あなたにとってどれほどの意味がありますか？あなたは神があなたに与える力と同じくらい強い従順への決意を抱いていますか？

イエスの祈りを自分のものとすると同時に、あなたの清めのためのイエスの祈りに同意する習慣を、あなたはどのように身に付けますか。